

教科(科目)	国語(古典B)	単位数	3単位	学年(コース)	5学年
使用教科書	東京書籍『精選古典B 古文編』『精選古典B 漢文編』				
副教材等	東京書籍『精選古典B 学習課題ノート 古文編』『精選古典B 学習課題ノート 漢文編』 尚文出版『完全頻度順入試対策ベストレクション古文単語3 2 5改訂版』				

1 学習目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。

2 指導の重点

- ① 古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。
- ② 文章や作品の内容を構成や展開に即して的確にとらえること。
- ③ 文章や作品に表れた人間、社会、自然等に対する思想や感情を読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。

3 学習計画

(1) 古文編

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	説話	『宇治拾遺物語』 『古今著聞集』 『発心集』	・基本的な古典文法や古語について確認する。 ・人物の行動や心情を読み取る。 ・説話文学の話の展開をたどる。	3 3 5	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
5 6	物語 I	『伊勢物語』 『大和物語』	・歌物語や、『伊勢物語』の特徴について理解する。 ・場面の展開と人物の心情を読み取る。	5 4	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
7 8 9 10	随筆 I	『枕草子』	・各章段に表現された内容と、そこに現れた筆者の個性を読み取る。 ・『枕草子』の特徴や、清少納言について理解する。	4	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
	物語 II	『源氏物語』	・『源氏物語』の特徴や、紫式部について理解する。	7	
11 12 1	日記 I	『更級日記』 『蜻蛉日記』	・筆者が自らをどう見つめているかを読み取る。 ・菅原孝標女、藤原道綱母について理解する。	2 2	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
	物語 II	『大鏡』	・人物の行動・心情を的確に読み取る。	4	
	軍記物語	『平家物語』	・語り物としての軍記物語の表現の特質を把握する。	4	
2 3	詩歌	万葉秀歌 王朝秀歌 歌謡	・歌の調べを味わい、歌風の特徴を理解する。 ・表現に即して内容を理解する。 ・歌謡の特徴を理解する。	4 3 2	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
	上代の文学	『古事記』	・上代の文学に親しむ。	2	

(2) 漢文編

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5	小話	先従魏始 不死之薬 漱石枕流 野中兼山	・音読によって漢文訓読のリズムに慣れる。 ・故事成語の意味を理解させる。 ・反語表現や抑揚表現に慣れさせる。 ・小話に込められた寓意を理解する。	2 2 2 2	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
6 7 8 9	詩 I	近体詩 日本の漢詩	・本文を正しく訓読できるようにする。 ・絶句・律詩の特色、表現の意図を理解する。 ・日本の漢詩の特徴を味わう。	5 3	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
10 11 12 1 2	史記 I	鴻門之会 四面楚歌	・原文の意味をしっかりと把握した上で、正しく訓読できるようにする。 ・長文を正確に読み、理解する力を養う。 ・登場人物の役割を理解し、『史記』の魅力味わう。	5 3	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
3	思想 I	論語 孟子 荀子	・教育者としての孔子について理解を深める。 ・孟子の『性善説』について理解を深める。 ・『性悪説』の特徴を理解する。	5 5 4	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査
	文 I	老子 莊子 漁父辞 送薛存義序	・道家の基本的な考え方を理解する。 ・比喩の意味することを的確に把握する。 ・文体のリズムを感じながら内容を理解する。 ・時流に抗する生き方について理解を深める。 ・作者の執筆動機を理解する。 ・文章の緊密な構成を把握する。	3 3 4 3	授業観察 発問評価 課題点検 定期考査

計 1 0 5 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

- ・各単元毎に提出物を指示する。
- ・休業中の課題は別途指示する。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

関心・意欲・態度	読心能力	知識・理解
言語文化や伝統に対する関心を深め、国語を尊重して進んで古典に親しもうとしている。	古典に表れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにほぐくんでいる。	古典の理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている。
以上の観点を踏まえ、以上の観点を踏まえ、 ・授業の取り組み(授業態度、発表や討論の様子、学習活動への参加状況など) ・各課題や提出物の内容 ・各小テスト ・定期テスト などから総合的に評価します。		

6 担当者からの一言

古典の学習は、現代人の思想や倫理の根本を学ぶ機会である。しかしその内容を正確に理解するためには、語彙力・文法(句法)の知識の習得が欠かせない。地道な予習を重ね、日々の授業と家庭学習において、基礎的な習得事項を確実なものにしていくことが求められる。日常の努力の積み重ねにしか「語学的学習」の成果は得られないと、肝に銘じて欲しい。

【課題・提出物等】

- ・課題等は適宜指示する。
- ・長期休業中の課題は別途指示する。

(担当:津野)

